



社協だより5/20、1/20発行号は、町会長の皆様にご協力いただき町会回覧にて世帯配付しています。

自分らしく安心して暮らせるように

市原市成年後見支援センター (市原市 受託事業)

開設

成年後見制度は判断能力が低下し、自分一人では契約や財産の管理などをすることが難しい方が、自分らしく安心して暮らせるように、その方の権利を守り、法的に支援する制度です。制度利用について、お気軽にご相談ください。



こんな時は、センターに相談ください!



- ▶ 親名義の定期預金を解約して、施設入所費用にあてたいが金融機関から後見制度利用をすすめられた。
- ▶ 遠方に住む親は認知症があり、高額なリフォーム契約をしてしまった。
- ▶ 親亡きあと、障がいのある子どもの世話を誰にお願いしたらいいの?
- ▶ 申立書の書き方がわからない。
- ▶ 身寄りがなく、もしもの時が心配
- ▶ すでに後見人になっているが、報告書の書き方がわからない。



● 制度の利用について法律的な相談は**弁護士(専門相談)**が月1回対応します。

1.開設日

2.時間 13:30~16:30(要予約)

①市原市社会福祉協議会

(住所:市原市南国分寺台4-1-4)

6月24日(木) 7月21日(水)

8月26日(木) 9月22日(水)

②南部保健福祉センター

(なのはな館)(市原市牛久377-1)

6月30日(水)

「福祉サービス利用援助事業」

成年後見制度を利用するまでではないけど、ひとりでの日常的な金銭管理がむずかしい場合は、社協と契約し毎月訪問支援をします。ご相談ください。



TEL:0436-26-6200
8:30~17:15(土日祝、年末年始除く)

こどもたちが安心して過ごせる居場所



こども食堂って どんなところ…?

こども食堂は、こどもがひとりでも安心して行くことの出来る「こどもの居場所」として、全国的に広がりを見せています。ひとりでごはんを食べるより、みんなで食べる楽しさや温かさを届け、食を通じたこどもたちの成長や、地域の中でこどもたちが安心して過ごせる場所となっています。市原市内では現在、ボランティアの方々を中心に4つの団体で開催しており、それぞれ特色のある活動を行っています。前号の3月号では、辰巳台地区で実施している「トイトイ食堂」、五井地区を中心に活動している「Amityいちばらこども食堂」の取り組みを紹介しました。今回の5月号では、国分寺台地区で実施している「地域食堂コンパス」「めぐみの森こども食堂」の取り組みを紹介します。

地域食堂「コンパス」



1 世代を超えた住民同士のつながりを ～はじめたきっかけ～

夕方になっても自宅に帰らない子どもたちが、公民館のロビーに多数いることを知り、学校や家庭以外に子どもたちが安心できる居場所が作れたらとの思いから、地域食堂「コンパス」を始めました。



国分寺台地区社会福祉協議会は、「どんな時でも助け合いのある地域づくり」を目指し活動しているので、食を通して地域との繋がりの大切さを実感して、世代を越えた住民同士の繋がりを作っていきける活動にできたらと思い、「こども食堂」ではなく「地域食堂」としています。目的や内容がわかりやすい活動なので、地域に住むボランティア活動に関心のある方々に協力を依頼し始めました。

2 こどもの学習支援も ～運営や活動について～



地域食堂「コンパス」では、食事提供の他に子どもの学習を支援しており、現在、学生ボランティアを含め21名のスタッフが、「調理担当」「学習支援担当」に分かれて活動しています。

必要な資金は、活動に賛同いただいた団体からの寄付等で運営しています。食事は地域内外問わず多くの方々からいただいた食材等を使い、満遍なく栄養の摂れる「カレーライス」を提供しています。今後はいただく食材の数や種類によってメニューの数を増やしていければと考えています。

実施団体である国分寺台地区社会福祉協議会会長の船山さんにインタビューしました!

●「コンパス」の由来は…

コンパスで描く輪には、始まりも終わりもなく、人間関係の上下もない。参加者もスタッフも繋がりがあって、認め合って、助け合う。そんな願いを込めて「コンパス」と名付けました。

3 人と人とのつながりを ～はじめて良かったこと・嬉しかったこと～

“食堂”というネーミングから、食事提供だけと思われる方がいるかもしれませんが、食を通して人と人とのつながりができる活動だと実感できます。小学生だった子が中学生になっても参加してくれたり、毎月の開催を楽しみにしてくれたり、地域食堂を安心できる居場所と感じてくれていることをとても嬉しく思っています。

また、少人数で開催していることもあり、一人ひとりとゆっくり話すことができ、関わりを深められたことで、抱えている悩みや問題に気付くことができ、その解決のための活動を作り出すきっかけにもなりました。

4 一緒に支え・作り上げていく一員として ～今後の活動について～

コロナの影響で、会場の都合上、人数制限を設ける必要がありましたが、今までより少ないスタッフ数でも開催できることがわかったことから、開催回数を現在の月1回から月2回に増やすことを検討しています。

地域食堂を始め、さまざまな人や団体とつながることができました。今後は地域にある団体と協力して、地域の中で孤立や孤独を感じる方に対して、それを解消できるような連携企画などを実施できたらいいと考えています。

また、地域食堂を今後も長く続けていけるよう、参加者をお客様としてではなく、一緒に支え・作り上げていく一員であるといった意識を参加者・スタッフを含め育てていきたいと思います。



めぐみの森こども食堂



1 実施できる環境であったことから ～はじめたきっかけ～

10年以上前から、毎年7・8月にはサマーバイブルキャンプや子どもへの学習支援、そして、母親を対象とした子育ての会を実施してきました。学習クラスや子育ての会の参加者の中には、共働き世帯のため帰りが遅く、こどもが夜に一人でごはんを食べている家庭もあったため、そういったこどもや家族のために何かできないかと思い、カフェを経営していて実施できる環境であったことから「こども食堂」を始めました。



アメリカやオーストラリアや韓国など、さまざまな国の人がボランティアとして協力してくれるため、大人もこどもも、多くの国の文化に触れられるグローバルな雰囲気の特徴です。

2 国際色豊かな料理を ～運営や活動について～

始めるにあたり、普段からつながりや関わりのある子育ての会の参加者や、学習支援に参加しているこどもたちに声かけし始めました。こども連れの家族を対象に月に1度開催しており、「誰かのために何かした



代表のハンさんにインタビューしました!

い”との温かい思いを持ったボランティアの方々に、1回あたり10名前後ご協力いただいています。

提供する食事は、地域に住むさまざまな国の方にもご協力いただいていることから、普段あまり食べる機会のないさまざまな国の料理を提供しています。食を通して、こどもや母親たちが豊かに交わり・関わり合い、安心できる居場所になればとの思いで開催しています。

3 関わりがなかった方々と ～はじめて良かったこと・嬉しかったこと～

こども食堂がきっかけとなって、普段なかなか一緒にごはんを食べられない親子が、仲良く一緒に食べている姿や、参加してくれているこどもや親同士が仲良くなっている姿を見ると、とても嬉しいです。

活動をはじめてからは、参加してくれる方は勿論のこと、地域内外からボランティアとして協力してくれる方であったり、食材等の寄付をいただける方であったりと、活動を始めなければ関わりがなかった方とつながることができ、始めてよかったなと感じます。

4 色々な人を巻き込んで ～今後の活動について～

コロナ禍で開催は難しいですが、高齢者や障がいをお持ちの方を対象とした催しを企画しています。また、人と人とのつながりが少なくなってしまったので、こども食堂を通じて、今まで以上に人と人とのつながりや大切さを感じてもらい、色々な人を巻き込んで、地域をより活性化していければと思っています。



参加希望・寄附等
についての
問合せ先

日時 毎月第1・3金曜日(16:00~18:00) 料金 ひとり100円
場所 国分寺公民館(南国分寺台1-2-6)
連絡先 070-5589-0658(国分寺台地区社会福祉協議会)



参加希望・寄附等
についての
問合せ先

日時 毎月第4水曜日(17:30~19:30) 料金 こども100円、おとな300円
場所 市原めぐみの森キリスト教会(国分寺台中央2-15-6)
連絡先 080-5512-8211



ふれ合いと支え合いのある 心豊かなまちづくりをめざして

～皆さまからの会費が地域福祉活動を支えています～

本会では住民の皆さまが、共に支えあい、助けあい、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。そのために、社協では「会員制度」を設けて皆さんの福祉活動の参加をお願いしています。

社協会員 募集中



皆さまからの会費が地域福祉活動を支えています。

令和2年度会費実績 総額 **13,147,000円**

会員の種類と金額		令和2年度実績
住民会員 (200円/世帯)	町会(自治会)長を通じて、皆さまにご協力いただいております。	12,455,000円
法人会員 (10,000円/1口)	企業・法人	275,000円
団体会員 (5,000円/1口)	市内の福祉施設・団体	284,000円
個人会員 (1,000円/口)	本会活動に賛同いただいた方	133,000円

ご協力いただきありがとうございました。

ボランティアセンターからのお知らせ

収集ボランティア活動報告

令和2年度、市民の皆様からお寄せいただいた“使用済み切手”のご報告をさせていただきます。

使用済み切手 約6.2kg

知的ハンディキャップの問題に取り組んでいる団体「誕生日ありがとう運動本部」に、送らせていただきました。

今後も継続していきますので、ご協力宜しくお願いいたします。

申込み・問合せ先 ボランティアセンター TEL 20-3100 FAX 22-3031 受付時間 月～金(平日)8:30～17:15

みんなの想いを届ける

赤十字活動資金へのご協力をお願いします

赤十字が行う災害時や感染症流行時の救護活動をはじめとした様々な人道的活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。赤十字活動資金へのご協力をお願いいたします。

- 国際活動の充実
- 災害救援体制の充実強化
- 健康・安全のための知識と技術の普及
- 赤十字奉仕団の活動
- 青少年赤十字の活動
- 赤十字精神と社資の普及
- 義肢製作所の運営

市原市地区 令和2年度 日赤社資報告

一般社資 (町会・自治会を通じてのご協力)	12,316,981円
法人社資 (奉仕団・事務局を通じてのご協力)	169,107円
総額	12,486,088円

ご協力ありがとうございました!

日本赤十字社キャラクター
ハートラちゃん



問合せ先

日本赤十字社市原市地区
(市原市社会福祉協議会内) TEL 24-0011

ありがとう

寄附 (2月～3月)
敬称略

- イトヨーカドー
労働組合姉崎支部 7,350円
- 匿名(光風台) 20,000円
- 匿名(若宮) 6,000円

